

令和2年度 堅田高等学校 第1回学校評議員の会が開催されました

日 時：令和2年6月18日（木）

14：30～15：20 授業参観

15：30～16：30

会 場：堅田高等学校 校長室

<参加者一覧表（敬称略）>

学校評議員3名

永田 敏彦 中原 康行 岡田 考世

本校関係者8名

藤支 良明（校長） 辻 和美（教頭） 藤田 恭敏（教務主任）

善村 光良（生徒指導課主任） 西村 忠（進路指導課主任）

山本 宏和（第1学年主任） 前田 秀生（第2学年主任） 岡崎 聡司（第3学年主任）

欠席：学校評議員 西 隆司 加藤 賢治

<次 第>

1 校長挨拶

2 出席者の紹介 学校側：自己紹介、委員：自己紹介

3 学校の現況と課題について

(1) 学校経営方針について ……校長より

- ・求める生徒像
- ・重点目標・主な取り組み

(2) 指導方針、重点目標について ……各分掌より

学習指導について……教務課

- ・コロナによる臨時休校により、1学期を7月31日まで延長し2学期の始業式も8月17日からとした。また土曜日日曜日も授業日として設定した。学力の保障について、各授業で年間計画を立て直してとりくんでいる。
- ・ICT教育の環境整備の充実を目指すとともに、教員もさらに研修していく必要がある。
- ・昨年度、地元の企業から、モニターの贈呈をいただいた。各方面より支援いただきながら、生徒の学習環境の充実につとめている。
- ・各時限の予鈴で入室し、授業の準備にあたる習慣が確立されている。落ち着いた雰囲気での授業が行われている。
- ・1、2年生で新しく探究の学習について取り組んでいる。1年生では、2学期にミニ堅田探訪を実施し、探究活動と連携させていく予定。
- ・新しい教育課程について検討。2022年度新学習指導要領実施にともない、早朝補習は発展的解消とし、週の授業時間数を31時間にする。

生徒指導について・・・生徒指導課

- ・基本的な生活習慣の確立をめざす。
- ・「あじみ指導」（挨拶の励行、時間を守る、身だしなみを整える）を徹底させている。
- ・予鈴で授業準備。生徒も教師も習慣として確立している。
- ・制服指導についての徹底定着。
- ・問題行動、最近は一桁。人間関係の中でこじれるときもあるので注視していきたい。
- ・あいさつは、生徒としてはできていないという声もある。逆に言うと、意識している生徒が増えているということでもある。さらなる指導につなげていきたい。
- ・体育祭については、パフォーマンスのみを7月27日実施する予定である。

進路指導について・・・進路指導課

- ・学校全体の落ち着きもあり、実績も向上している。
- ・キャリア教育の推進。昨年度まで研究指定を3年間うけた。著名な方の講演を聞く機会を得た。
- ・各学年で進路関係行事を設定し、生徒の進路意識を高めていくように計画していく。
- ・進学（四大・看護）や就職に向けての外部講師を取り込んだ取り組みを講座として実施している。
- ・進路開拓にむけた就職先への訪問を実施している。進学者向けのオープンキャンパスの案内なども届き、現在対応しているところである。
- ・令和元年度卒業生の進路実績の紹介。滋賀県立・同志社・立命館など実績があがっている。

(3) 生徒の学習状況や生活状況について・・・各学年より

①第1学年について・・・学年主任

- ・あじみ指導を通して堅田高校で成長してもらいたい。人間的な成長を期待している。
- ・6月の学校再開後、人間関係も含めて、やっと慣れてきたかなという印象を持っている。同時に、やや疲れも出てくる頃かと感じている。
- ・最初の7月の考査しっかり取り組ませたい。
- ・欠席生徒も少なく、安定している。
- ・1年生の6月27日進路講演会出席40程度。保護者の進学への意識も高いかと思われる。

②第2学年について・・・学年主任（新井先生代理）

- ・面談を通して、進路が確定しつつあるのを感じている。自分の進路に対して教員に助言を求めてくるような意欲がみられている。
- ・コロナ後学校再開では、生徒はクラスで集まり、学習することの楽しさを感じている様子である。
- ・欠席遅刻に関しても連絡をしっかりとするなど、成長がみられる。

③第3学年について・・・学年主任

- ・現在198名。
- ・欠席が多い生徒がいない。
- ・コロナの関係で、部活動・文化祭・行事の縮小などで、最後の高校生活の楽しみを奪われた面はあるのではないかと。一定のケアも必要か。
- ・休校中も希望者の補習や個別の対応をして、受験に向けて力をつけてもらえるように学習させる。教員も頑張ってやっていきたい。
- ・さらなる人間的な成長を期待したい生徒もいるので、きちっと進路実現し、卒業まで支援していきたい。

(4) 入学者選抜について …… 教頭より
 志願者倍率の推移の分析。学力層は上昇傾向にある。
 コロナの影響により、体験入学は9月と11月の実施に変更した。スポ推の実施の部分については、中学校3年生の推薦生徒の確保の面で課題もある。

(5) 学校評価と改善策について …… 教頭より
 学校評価の点で、昨年度からの改善点の紹介。
 個人ロッカーの整備もできており、学習環境の充実整備を目指す。
 新学習指導要領をふまえたさらなる取り組みと魅力の発信をする。

(6) その他
 部活動の実績、近畿大会や全国大会に出場しているクラブの紹介。

4 校務運営に係わる意見交換

- ・学校評議員からの提言等

【学校評議員からの主な提言】 ○：学校評議員の提言（意見）や質問
 ●：学校側の発言

- ：あじみ指導について。身だしなみ指導のチェックの仕方は、どうしているのか
- ：学期の初めに体育館で実施。制服丈の指導。生徒指導課と学年で当たっている。
- ：女子の指導は、女性教員で対応できないか。
- ：女性の先生の数が少ない面があるが、配慮していきたい。
- ：威圧的な言い方をする先生があるので、配慮いただきたいという声も聞いている。
- ：指導の流れもあるが、配慮していきたい。
- ：先ほど校舎を回っていても、生徒の挨拶の印象は良かった。
- ：自分自身もOBであり、50年前から比べればはるかに素晴らしくなったという印象が強い。就職と進学が逆転している。堅田学区でボランティアをしているが、通学途中の高校生を見かける。あいさつを返してくれる生徒もいる。身だしなみはしっかりしているのではないかと。
- ：新しく校舎の外壁を塗っている面があるのとないのはなぜか。
- ：校舎の雨漏り補修工事に付随して実施したという予算措置であったためそうになっている。
- ：堅田学区の中で、自治体の協力も得て、交差点に防犯カメラの設置を検討している。もし生徒が、犯罪にかかわるような事象があれば、協力できる面もある。

●：また各方面での支援をお願いしたい。

5 校長謝辞

<座席表>

